

氏名	森島 海
学位の種類	修士（鍼灸学）
学位記番号	鍼修第481号
学位授与の日付	令和6年3月12日
学位授与の要件	大学院規則第30条および学位規程第4条該当
学位論文題目	医療系大学生を対象としたギャンブル依存症の現状に関する調査 — 予防因子をみつけるための探索的研究 —
指導教員	伊藤 和憲

学位論文の要旨

【目的】

近年、我が国ではギャンブル依存症の問題が深刻化しつつある。対策としてギャンブル依存症に対する防止プログラムなど予防策が注目されており、一定の効果が示されている。また、性格特性などの予防（危険）因子の探索も行われており、その中でギャンブル依存症の高リスク集団として大学生が注目され、いくつか報告がされている。しかし、これらの報告の多くは一般的な大学生を対象としており、専攻分野や学習内容、ギャンブル依存症に関する知識、健康度を予防（危険）因子として調査を行った研究はほとんどない。そこで本研究では、医療系大学に所属する大学生を対象に、新たなギャンブル依存症の危険因子を明らかにする目的で調査を行ったので報告する。

【方法】

明治国際医療大学学部生 786 名を対象に、ギャンブル依存症の尺度および関連因子に関する調査を行った。調査内容は、年齢などの基本情報、ギャンブル依存症の尺度（SOGS）、ギャンブルの参加頻度や賭け金額（生涯に行ったギャンブルの回数、開始年齢、1日で使用した最高金額、過去12ヶ月以内に行ったギャンブルの参加頻度）、ギャンブル依存症に影響を与える関連因子（ギャンブル依存症に関する知識や情報への暴露、予防に関する意識、周囲のギャンブル参加者に関する調査、リスク回避能力（SOC-13）、衝動性（BIS-11）、性格傾向（Big Five 尺度）、補完代替医療の認知度、過去12ヶ月の補完代替医療の受容率、健康関連 QOL（SF-8））とした。統計解析は、単純集計、SOGS を従属変数とした重回帰分析、SOGS の男女比較に Mann-Whitney の U 検定を行った。

【結果】

有効回答数は 364 名（有効回答率 48.2%）で、対象者の年齢は 19.9 ± 1.5 歳であった。重回帰分析では、ギャンブルの開始年齢、ギャンブルの参加頻度、周囲のギャンブル参加者数、SOC-13、運動的衝動、精神的健康（SF-8）の 6 因子が抽出され、寄与率は 30.3% となった。SOGS の男女比較では男性が有意に高い数値を示した。

【考察】

6 因子の内、開始年齢の遅さ、ギャンブルの参加頻度、運動的衝動は過去の報告におけるギャンブル依存症のリスク要因と一致し、普遍的な因子であると考えられた。性別では男性でより依存症リスクが高いことも過去の報告と同様の結果であった。SOC-13 と精神的健康は新たに抽出された因子であり、医療系大学生に特有の危険因子であると考えられた。本研究の結果は、今後のギャンブル依存症の予防策を検討する上で有益であると考えられた。